

津島高等学校附属中学校 Q&A

2024年10月23日現在

○ 教育方針

1	愛知県へ中高一貫教育導入するということで、初めてのことばかりで、先のことは時代に応じて良い方向へ臨機応変にやっていただきたいと思っておりますが、子どもたちが入学し、6年後のビジョンを教えてください。	津島附属中学校では中高6年間を通して、「多様な文化を理解し尊重する精神をもち、世界や地域社会の発展に貢献する探究心、確かな学力、思いやりを身に付けた、たくましい人材の育成」を目指します。
2	中高一貫だからこそ実現したい教育内容と、その具体的な構想について教えてください。	中学校段階から、主体的・協働的で探究的な学びに取り組みます。そして、高校における国際探究科での学びにつなげます。中高6年間を通して、多様な文化を理解し尊重する精神をもち、世界や地域社会の発展に貢献する探究心、確かな学力、思いやりを身に付けた、たくましい人材の育成を目指します。

○ 教育内容

3	附属中学校の国際探究コースは、普通コースと何が違うのですか。	附属中学校の国際探究コースは、世界基準の授業プログラムを導入します。また、異なる文化や価値観を知り、国際的な視野を広げる学びを大切に、探究活動を充実させます。
4	附属中学校の生活クラスと授業クラスの違いは何ですか。また、クラス分けは習熟度(テストの結果順位等)で決まるのでしょうか。	各教科、道徳は、26～28名の授業クラスで実施する予定です。また、総合的な学習の時間は、20名程度の少人数単位や生活クラス単位など様々な学習クラスを予定しています。一方、学級活動や給食などは40人の生活クラスで行います。授業のクラス分けについては、生徒集団の状況に応じて適切に行ってまいります。なお、特定の職員がクラス担任をもつのではなく、「チーム担任制」を導入する予定です。
5	小学校で習う以上の英語力が入学当初から必要なのでしょうか。現段階で英語教室や英語塾に通っていないと難しいのでしょうか。中学入学までに求められる英語力がどの程度のものか知りたいです。	中学校入学時点で、小学校の外国語学習よりも高度な英語の力は必須ではありません。小学校の「外国語活動・外国語」で身に付けてきた英語力があればよいです。
6	中学校の勉強の内容は他の中学校とは違うのですか。また、一般的な学習は家庭ですのですか。	本校は、学校教育法第1条に規定する学校ですので、中学校で履修すべき学習内容については公立の中学校と同じです。探究的な学習を中心に進めますが、基礎的な知識や技能についても学んでいきます。
7	公立中学とのカリキュラムの違いを教えてください。	1週間の授業時数は、標準授業時数よりも2時間多い、週31時間です。この2時間は、全学年で総合的な学習の時間を2時間増やします。
8	良くも悪くも学力差が生じた場合はどのような指導をしてもらえますか。	個別に相談しながら、丁寧に対応していきます。
9	答えのない問題、課題に取り組む中で、評価、成績はどのような基準でつけられるのか。	課題ごとにルーブリックを設定し、客観的な評価規準に基づいて評価します。
10	教科書は公立中学校で使用されるものと同じですか。	教科書は文部科学省の検定を通った学習指導要領に準じたもので、本校の教育活動に適したものを使用します。選定した教科書については、教育委員会のHPにてご確認いただけます。

○ 学校生活

11	給食はありますか。	給食はあります。津島市の給食センターから配送します。
12	6年間制服が一緒とのことですが、成長期でサイズ選びにとっても悩みます。セレモニー用に冬服は必ず購入すべきでしょうか。夏制服も必要でしょうか。また、体操服も高校と同じでしょうか。	制服については、津島高校と同じプレザータイプの制服を津島附属中学校でも導入します。式典等の季節によって冬服、夏服の区分けはありませんが、TPOに応じて、生徒の皆さんが適切な服装を考えられるようにと考えています。体操服については、高校でも同じものを使用する予定です。
13	津島中学の修学旅行はどこへ行くのですか。	附属中学校の修学旅行の行先等については、現在、検討中です。

14	主要な駅(津島駅、国府宮駅など)からなど、通学バスは出ますでしょうか。	通学バスが出ることは予定をしておりません。現在の津島高校生は最寄駅から自転車を使うことが多いです。
15	自転車通学の場合、自転車やヘルメットの学校指定、または規格のものがあるのでしょうか。それとも、現在自宅で使っているものでもいいのでしょうか。	安全に登校できる方法であれば、特に制限はありませんが、ヘルメットの着用は推奨します。
16	通学に電動自転車は使用してもよいのでしょうか。	とくに制限はしません。
17	荒天の日など、車で送迎したい日もあるのですが、校内駐車場で乗降できるのでしょうか。	学校に十分な駐車場はありません。できるだけ保護者の車で送迎をお控えください。特別な事情がある場合は、ご相談ください。

○ 学校行事

18	どんな行事を考えていますか。	修学旅行や野外学習などの宿泊を伴う行事、イングリッシュキャンプの実施のほか、文化祭や体育祭など高校と合同で行う行事を計画しています。
19	運動会は、附属中の生徒のみで開催しますでしょうか。	体育祭(運動会)は、津島高校と合同で実施する計画です。また、附属中学校の生徒のみでの体育的行事も検討しています。

○ 諸経費

20	海外での語学研修は必須かどうか、費用はいくらぐらいになりそうかを教えてください。	海外研修への参加は任意です。費用は、行先や為替、燃油サーチャージの影響を受けますが、概ね40万円～50万円ほどと考えています。
21	教材費や行事積立金は特色ある授業をする分、割高になるイメージがあるがどうでしょうか。	教材費や行事積立金などの必要経費は、月額15,000円～20,000円を想定しています。

○ 部活動

22	勉強だけでなく部活動も行うことができるのでしょうか。また、部活動がある場合、高校生と一緒にすることになるのでしょうか。	本校の学びでは、授業後に探究活動やレポート作成などの学習活動を行う時間を確保する必要があると考えています。部活動については、一般的な公立中学校と同じような部活動の実施は難しいと考えていますが、希望する生徒が、高校の部活動で高校生と一緒に、安全を確保しながら活動できる仕組みを検討していく予定です。もし、「こういうことをやってみたい」というような、生徒が主体性をもって活動したいことがあれば、状況に応じて検討したいと考えています。
23	中学校の部活動に入らず、外部スクール(クラブチームなど)に入ることは可能でしょうか。	可能です。

○ 進学・転校

24	入学後、学校理念と合わなかった場合などで、地域の中学校へ転校することは可能ですか。	可能ですが、愛知県が導入する中高一貫校は、中高6年間の継続した学びができることが特徴です。そのため、原則、6年間の学びを貫くことを求めます。出願時にご家庭でよく話し合っていたいただいた上で出願してください。
25	津島高校付属中学を卒業後、津島高校以外の他の高校への進学は可能でしょうか。	本校は、中高6年間の教育により、多様な文化を理解し尊重する精神をもち、世界や地域社会の発展に貢献する探究心、確かな学力、思いやりを身に付けた、たくましい人材の育成を目指す学校です。そのため、6年間を通して学ぶ意思があることが前提となります。

○ 津島高校について

26	附属中学校から津島高等学校に内部進学する場合、普通科と国際探究科(2025年度開設)のどちらの科に進むことができますか。	中高6年間を通して、国際的な視野で探究的な学びを行うため、原則、国際探究科への進学となります。
27	学科改編により、高校に国際探究科が新設されるのはいつですか。また、現在の普通科はどうなりますか。	2025年度4月より、普通科の一部を国際探究科に学科改編します。学科改編に伴い、普通科と国際探究科の併置校になります。
28	普通科と国際探究科の募集人数はどうなりますか。	普通科と国際探究科の募集人数は、県の高校入試に関する発表をもってお示しします。具体的には、R7年度の募集人数は、普通科280名、国際探究科40名です。

29	国際探究科について、普通科との違いを教えてください。	国際探究科は、「専門教育を主とする学科」であり、普通教育の他に、国際関係や探究活動に関する学校設定教科を設置するとともに、課題研究や研究発表などの探究活動をより重視する学科となります。
30	語学にも力を入れるカリキュラムかと思いますが、高校での進路選択は理系文系のどちらも選ぶことが可能でしょうか。高校進学後も同じように探究重視で授業等が行われるのでしょうか。	国際探究科では、「探究する」ことを軸におき、文系理系どちらにも対応しています。
31	高入生(高等学校からの入学生)は、高等学校への入学者選抜時にどのような選択が可能ですか。国際探究科には進学できますか。	高入生は、高等学校への入学者選抜時に、普通科と国際探究科の選択が可能ですので、市町村立中学校や私立・国立の中学校等からも、国際探究科を志願することができます。ただし、それぞれの学科の募集定員が前年度まで未定です。なお、出願は1校1学科に限ります。
32	高入生と内進生(附属中学校からの入学生)は、全く別のカリキュラムですか。また、基本、交わらないのですか。また、高入生と内進生を混合するのであれば、その目的やメリット、指導法を教えてください。	国際探究科では、高入生と内進生は同じカリキュラムで学習します。附属中学校で3年間探究的な学びをしてきた内進生と、高校入試を経てきた高入生が互いに切磋琢磨しながら、学力や個性、創造性等を伸ばしていきます。なお、現時点では、各学科の募集規模は未定です。
33	高等学校に進学してから希望進路が変わって、国際探究科から普通科への変更、文系から理系への変更などを希望した場合に、対応は可能ですか。	津島高等学校への入学後、途中で国際探究科から普通科に変更することは原則できません。文系・理系の選択は2年生からなので、高等学校に入学した後に決めます。2年生に進級後の、文理変更は原則できません。

○ 大学進学

34	中高一貫を選ぶ親は、大学進学を希望している方が公立中学よりは多いと思います。6年後、津島高校の大学進学実績を超えていく感じで目指しますか。	本校で学んだ生徒たちがより豊かな人生を送れるような進路指導をしてみたいです。進学先についても個々の生徒の希望が叶うような教育を実施します。
35	大学進学の際、国際探究科から医学部を受験することはできますでしょうか。	可能です。

○ 入学者選抜

36	入学者にはどのような資質を求めますか。	① チェンジ・メーカーの育成や探究学習にとって重要な資質(探究心、共感力、寛容性、粘り強さなど) ② 志望動機が明確であり、導入校の教育方針やカリキュラムへの理解、中高6年間にわたって探究的な学びを続けようとする意欲
37	インターナショナルスクール等の生徒を受け入れていますか。	受け入れています。詳細については、愛知県教育委員会あいちの学び推進課 中高一貫教室にお問い合わせください。
38	普通コースとそれ以外で試験内容の異なる項目を教えてください。また、試験日は同一ですか。	普通コース(明和、半田、刈谷)と国際探究コース(津島)は、入学者選考の実施方法及び実施日程は同一です。なお、入学者選抜の日程は、普通コース、国際探究コースは、一次選抜(適性検査)は、2025年1月11日(土)、二次選抜(面接)は、2025年1月18日(土)です。詳しくは、愛知県教育委員会の発表資料をご覧ください。
39	国立中学校との受験の併願は可能ですか。	試験日程が重ならなければ、国立、私立と併願することは可能ですが、相手校の受験要項等を確認してください。なお、合格された場合、入学確約書提出後に入学を辞退することは、他の志願者の著しい不利益となるため、原則として認めることはできません。
40	全問選択式ということですが、選択式の問題で本当に思考力や表現力をはかることはできるのでしょうか。	適性検査は、複数の教科を組み合わせた内容で、知識や技能を活用した思考力・判断力・表現力等を測ります。
41	受験校を選択するにあたり、各学校で受験時の学力レベルに差はありますか。	受験校の選択については、各学校の教育理念や教育内容等を参考に判断ください。
42	入試問題は各学校で違いますか。それとも共通ですか。	適性検査の問題は共通です。
43	可否を決定するにあたり、英検などの取得や学校内の生徒会などの役割、通知表の◎の多さなど、どの部分が重要視されますか。	最終合格者は、適性検査の成績と面接の結果等を資料として、総合的に判断して決定します。
44	入学辞退者が出た場合、繰上げ合格はありますか。	1月中に合格辞退があった場合は、繰り上げ合格を行います。

45	合格基準点はありますか。基準点以下の場合、募集人数より少ない合格者数になりますか。	1次選抜は適性検査の成績をもとに合否を判定します。2次選抜は適性検査の成績、面接の結果等を資料として合否を判定します。その際、合格基準点を設けることは予定していません。
46	筆記試験の自分の点数は通知されますか。	適性検査の得点について、通知することはありませんが、受検校において確認することが可能です。詳細は、今後Webページでお示します。
47	①筆記試験や面接はどのような服装が好ましいでしょうか。 ②試験当日は車での送迎は可能でしょうか。どこで乗り降りするのが好ましいでしょうか。	①筆記試験や面接の服装については、特に、制限はありません。 ②試験会場(学校等)に十分な駐車場はありません。できるだけ保護者の車での送迎をお控ください。特別な事情がある場合は、ご相談ください。
48	塾などは通わずの受験となります。対策アドバイス、そして目安となる成績基準はありますか。また、受験の勉強の仕方について教えてください。	適性検査は、小学校で学習した範囲内で、複数の教科を組み合わせた内容とし、知識・技能を活用した思考力・判断力・表現力などを測る問題となります。英語は出題せず、全問選択式とします。出願に関して成績基準はありません。
49	内申点(通知表)の影響は、どの程度ありますか。	通知表の写しは面接の参考とし、合否の判定の資料としては使用しません。

○ 施設

50	中学は新校舎と説明を受けました。中高一貫校に入学した生徒は高校時もこの新校舎で過ごすことになりますか。高校の校舎になりますか。国際探究科6年間を過ごすための新校舎になりますか。	主に中学時は新校舎、高校時は既存の校舎で授業を行います。教科によっては、中学生が既存の校舎、高校生が新校舎で授業を受けることもあります。
51	新校舎は令和7年4月の入学時から使用できるのでしょうか。	2025年3月までに完成する予定です。附属中学校開校時から新しい校舎を利用します。

○ 教員配置

52	高校と活動を共に行うことがあると説明されたのですが、授業など高校の先生が教えることはあるのでしょうか。	附属中学校の授業は、市町村立の小中学校教員、及び中学免許をもつ県立高校教員が行う予定です。中高合同で活動を行う際は、高校の教員が指導する場合も考えられます。
53	配属される先生方は通常の公立中学の先生方と同じように年数が経てば異動があるのでしょうか。それであれば、その都度、先生方の知識やレベルも国際的な教育プログラムに伴った指導者として成り立つように研修などを行うのでしょうか。	配置される教員は、定期的に異動する予定です。(全校共通Q5-2)教員の研修については、先行する好事例を活用した研修や、外部講師による研修等を行っていく予定です。

○ その他

54	今回の中高一貫校の探究学習のスタイルを、各自治体の公立小中学校それぞれで展開していくことはできないのでしょうか。	各自治体には各自治体の特色がありますが、探究学習を展開することは可能です。本校では特に中高6年間を通した一貫性のある学びができることが特長です。
55	学校見学はありますか。またいつ頃ありますか。	今年度行う予定はありません。来年度は、夏に学校説明会を開催予定です。詳細につきましては、来年度HPでお知らせいたします。
56	アルバイトは禁止していますか。	中学生のアルバイトは原則として認められません。ただし、中学生の就業が認められている新聞配達等については学校に相談してください。